

ごんた坂

(光陵高校同窓会会報)

第19号



〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト

～50周年のお知らせ～

光陵高校は平成27年に創立50周年を迎えます！
光陵会も50周年記念事業に携わっております。詳細
は下記のURLの「50周年特設サイト」を参照ください。

URL : http://koryokai.jp/koryo_50th/



目次

特別講演は16期長瀬啓介氏 …… 2 昨年度総会報告 …… 3
先生が語る光陵の今と昔 …… 4 5 6 卒業生からの便り …… 8
合格速報&人気大学ランキング… 7



「昨年度特別講演16期上大岡トメ（久家幸子）さん」

★「神社さんぽ2」アース スター・エンターテインメント

会長挨拶

会 長 太田 秀和 (2期)



私たちの母校、光陵高校の50周年記念式典が平成27年秋に開催予定となりました。光陵会の皆さんのお力をお貸しいただき、成功に協力しましょう。

先日、オランダのアムステルダムに本拠地を置く「ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団」で、ヴィオラのトップである5期の波木井賢氏とお話をすることができました。世界のオーケストラでは、常にベスト3に入っているオケで、リヒャルト・シュトラウスが交響詩「英雄の生涯」を献呈したことで有名です。マーラーも、しばしば指揮台に立った伝統あるオーケストラです。波木井さんは、平成4年からヴィオラのトップを務めている光陵の卒業生です。20年以上も世界の音楽シーンの第一線で活躍されているにもかかわらず、その気取らないお姿に感動すら覚えます。

私は、プロ野球という世界でアスリートを見てきました。第一線で活躍し続けるために大変な努力をしている姿を身近に見てきました。それはそれはストイックな姿でした。試合で見せる華やかな世界とは、全く異なる反復、工夫、失敗、確認、意欲、誇り、喜び、そしてベストな体調管理など、厳しく、苦しく、地道な道でした。恐らく、第一線で長く活躍されている音楽家も、アスリートと同じ努力をされていると思います。それが世界で活躍されている波木井さんを支えている

のだと思います。唐突に、こんな失礼な質問をしてみました。「ご自分が好まない楽曲があると思います。どのようなお気持ちで演奏されていますか？」と。波木井さんはにっこりされて、「演奏が終了するまでは、その楽曲が世界一素晴らしい曲だと思って演奏しています！」と、お答えになりました。

光陵会の総会では、いろいろな分野で活躍されている卒業生の講演コーナーがあります。事務局が講師を決める時、たくさんの卒業生の名前が並びます。わくわくしながらの講師選びです。本来でしたら有料で講演される皆さんです。しかも聴衆が同窓生ということで、ここだけの話という本音の部分のお話も聞くことができます。ぜひ、光陵会の総会にご出席ください。その後の懇親会には講師の方も出席されます。いろいろな質問に講師ご本人がお答えくださり、あっという間に時間が過ぎてしまいます。

光陵高校の50周年を迎えるにあたり、卒業生の皆さんに「寄付のお願い」を申し上げます。我々が歩んだ道のりを正しく残すためにも、ご協力をお願いいたします（詳しくは「50周年特設サイト」をご覧ください）。

この会報は、光陵会の若いスタッフが、忙しい学生生活の合間を縫ってボランティアで作成してくれました。光陵会のメーリングリストには、初めての作業への戸惑い、悩みが発信されています。その悩みに対して先輩たちが、丁寧にフォローしています。会報を作りあげる努力と完成させる喜びは、社会に出た後、必ず役に立つことと思います。

改めて会報の発行にかかわった事務局の皆さんに感謝申し上げます。

事務局長挨拶

事務局長 木村翔太郎 (44期)



今年も光陵会の会報が皆様のお手元に届く季節となりました。

突然ですが光陵会というものをご存知でしょうか。「ああ、同窓会を企画してくれる人たちね！」とか「なにか卒業生の集まりでしょう？」といった印象をもつ方々もいらっしゃるかもしれませんが、

簡単にご説明しますと、光陵会とは光陵高校卒業生のコミュニティ、同窓会組織です。ただ、他校の同窓会組織と大きく異なる点があります。それは、学生が中心となって運営しているという点です。

私は光陵を卒業して3年目になります。そのなかで、やはり光陵で過ごした3年間は非常に充実していたな、今後もその思い出は色あせないだろうな、と改めて感じています。まだ3年しか経っていない私に比べたら、先輩方はよりいっそう母校への思いを深めていることと思います。今年、私たち44期生は成人を迎え、成人式後に同期会を開きました。

多くの参加者が集まり、2時間という短い間でしが思い出話に華を咲かせました。私は幹事として同期会の様子や参加者の声を気にかけていたので、会場全体がクラスの分け隔てなく楽しそうに話していたことはうれしい驚きでした。さらに、思った以上に多くの人が光陵会の存在を知っていて、卒業後も光陵への関心は高いことを感じました。やはり光陵で過ごした3年間は誰にとっても思い出深いようで、終始笑い声の絶えない素晴らしい同期会になりました。

この会報は、社会人の先輩方にサポートをしてもらいつつ、私たち学生スタッフを中心となって作成しています。卒業後の母校がどのような様子か気になっている方々のために、光陵の近況や雰囲気が伝わるような会報づくりを心がけました。ぜひ皆様のご意見、ご感想を同封のハガキにてお寄せください。

会報を読んで母校に思いを馳せた後は、6月の総会・懇親会に参加して、様々な期の卒業生と交流を深めてみてはいかがでしょうか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

最後になりますが、この会報の発行に際しご協力いただきましたすべての方々に心より御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

平成26年度 光陵会総会・懇親会のご案内

平成26年6月21日(土)

●総会 14:00～ (13:30より受付)

場所：光陵高校第一聴覚室
(横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)
※上履きは各自でご持参ください。

【会則改正案の決議について】

総会にて光陵会会則改正案の決議が行われる予定です。
詳細は紙面の都合上、割愛させていただきます。

●特別講演 「よい医療にめぐりあうには」



講 師 16期 長瀬 啓介 氏
医師 (内科医)

略 歴

筑波大学医学専門学群卒、同博士課程修了。現在は金沢大学附属病院経営管理担当副院長と経営企画部長を兼務。

講演内容

より良い医療に患者がめぐりあうために必要なことは？
病院が抱える、一定の利益を必要とする企業としての側面と、市民ニーズ。医師・経営管理というふたつの視点から、誰もが必ず関わる病院の「現実」をお伝えいただきます。

～同期会・クラス会を開こう～

年に一度せつかくの機会ですので、同期会・クラス会を開催される方もいらっしゃるかと思います。光陵会では同期会・クラス会を行うためのサポートを行っておりますので、懇親会の二次会はもちろん、その他の機会でもお気軽にご相談ください。

●懇親会 17:30～ (17:00より受付)

場所：ワークピア横浜 (横浜市中区山下町24-1)

会費：一般料金 7,000円
特別料金 (現旧職員) 5,000円
(ご 夫 婦) 10,000円
(学 生) 1,000円

■ワークピア横浜にて懇親会を開催!!

今年度も昨年度に引き続き、ワークピア横浜にて懇親会を開催いたします。総会からご参加いただく方には、懇親会会場まで光陵会で移動手段をご用意させていただきます。

※特別料金 (ご夫婦) はパートナーが光陵高校の卒業生でなくても結構です。

※ご不明な点等ございましたら、光陵会ホームページまたは下記メールアドレスまでご連絡ください。

URL : <http://koryokai.jp/> MAIL : staff@koryokai.jp



みなとみらい線 日本大通り駅3番出口 徒歩 5分
JR根岸線 関内駅南口 徒歩15分
JR根岸線 石川町駅北口 徒歩13分
横浜市営バス 26系統 大根橋下車
2、8、20、58、109系統 芸術劇場・NHK前下車

お手数ではございますが、ご都合の程を同封のハガキにて5月20日(火)までにお知らせください。また、当日の飛び込み参加も歓迎いたします。ぜひお越しください。その場合には、staff@koryokai.jpまでご連絡いただければ幸いです。

6期、16期、26期、36期 (卒業アニバーサリー期) の皆様へ

今年卒業40年、30年、20年、10年を迎えられる6期、16期、26期、36期の皆様には「卒業アニバーサリー期」として特にお集まりいただきたいと考えております。当時担任をされていた先生方にもぜひお声かけをお願いいたします。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

青春かながわ校歌祭

今年で第9回となる校歌祭ですが、光陵高校は第2回から参加しています。伝統校が歴史を感じさせる校歌や応援歌を披露するなかで、ひととき異彩を放つ私たちの混声四部の歌声を、今年も響かせたいと思います。練習会は光陵高校の音楽室などを借りて行っています。練習日予定や参加費 (楽譜印刷代など昨年は500円) など、詳細は光陵会ホームページでお知らせします。今年も多数の方の参加をお待ちしています。

●開催案内

日時：平成26年10月12日(日)
会場：横須賀芸術劇場(横須賀市本町3-27)

主催：かながわ校歌振興会
共催：神奈川県教育委員会

同窓生向けSNSのお知らせ

卒業後の交流の場として同窓生向けのSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせはこちらへお願いいたします。

URL : <http://www.koryo.gr.jp/sns/>
MAIL : koryo-kai-request@koryo.gr.jp
運 営 : 光陵会メーリングリスト(koryo.gr.jp)

平成25年度 総会報告

昨年6月8日(土)に平成25年度総会を光陵高校第一視聴覚室で開催いたしました。
以下の議事項目は承認されました。また、活動報告も行われました。

①平成24年度決算報告 ②平成25年度予算審議

③平成24年度役員解任 ④平成25年度役員承認(ごんた坂18号7ページ参照)
事務局から以下の4点を主に変更した会則改正案の議事を行いました。

- (1) 準会員の設置 【理由】転校した生徒で入会を希望する者がいたため
- (2) 退会規定の設置 【理由】会の運営をスムーズにするため
- (3) 事務局の機関化 【理由】(2)に同じ
- (4) 住所不明者の定足数からの除外 【理由】(2)に同じ

会員から追加の議案が出されたため昨年度は採決を行いませんでした。本年度の総会で改めて議事を行う予定です。皆様、ぜひご参加ください。

(44期 松尾理矢子)

光陵会賛助金芳名簿

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。皆様の温かいお心遣いに感謝いたしますとともに、以下にご報告いたします。

今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。
(以下、敬称略)

【お振り込みいただいた方】

小野 敏路(25-3)

【総会時に賛助金をいただいた方】

千葉 孝(1-1) 池谷 透(1-1) 太田 秀和(2-2)
大道 正夫(4-1) 山本 勉(4-1) 田中 博之(4-2)
遠藤 主計(6-3) 田沼 光明(7-1) 飯牟礼成義(7-5)
佐藤 竜太(15-7, 旧職員)
武藤 壮輝(28-4) 佐藤 正知(31-3)

会計報告

平成25年度決算

(収入の部)

入会費・終身会費	¥2,390,000
懇親会会費	¥438,000
賛助金	¥67,000
名簿売上	¥30,000
その他	¥2,992
前年度繰越金	¥19,806,020
合計	¥22,734,012

(支出の部)

通信費	¥142,757
印刷費	¥4,537
事務費	¥28,383
運営費	¥409,607
交通費	¥200,010
懇親会費	¥587,308
H P 運用費	¥49,890
会報費	¥356,335
校歌祭費	¥63,000
光陵祭費	¥25,325
高校寄付費	¥193,515
設備予備費	¥92,400
50周年準備費	¥2,100
合計	¥2,155,167
収支差額	¥20,578,845
前年度比較	¥772,825

平成26年度予算案

(収入の部)

入会費・終身会費	¥2,800,000
懇親会会費	¥450,000
賛助金	¥50,000
前年度繰越金	¥20,578,845
合計	¥23,878,845

(支出の部)

通信費	¥140,000
印刷費	¥30,000
事務費	¥30,000
運営費	¥500,000
交通費	¥200,000
懇親会費	¥550,000
H P 運用費	¥50,000
会報費	¥500,000
校歌祭費	¥82,000
光陵祭費	¥82,000
高校寄付費	¥200,000
設備予備費	¥200,000
50周年準備費	¥100,000
合計	¥2,664,000
収支差額	¥21,214,845
前年度比較	¥636,000

平成25年度 役員・事務局

会 長	太田 秀和(2期)	
副 会 長	大道 正夫(4期)	山本 勉(4期)
	古藤田謙治(5期)	中濱こずえ(9期)
理 事	藤原 真人(22期)	柿崎 祐一(25期)
	藤原 直人(31期)	高橋 芳昌(33期)
	小西 直子(35期)	佐藤 愛美(36期)
	播口 陽介(36期)	増田 悠子(38期)
	柘植 貴之(41期)	
監 査	上原 武(25期)	増田 祐徳(36期)
	金子 周平(38期)	
事 務 局 長	木村翔太郎(44期)	
副 局 長	内山 唯(43期)	山本 航介(43期)
	松澤 立矢(45期)	村上 将(45期)
会 計	北原 将(44期)	
会 計 補 佐	藤居 悠人(43期)	佐藤恒太郎(45期)
	山下裕太郎(45期)	
書 記	八重野なつき(43期)	松尾理矢子(44期)
	安藤えり子(45期)	

平成26年度 役員・監査・事務局(会則改正後案)

会 長	太田 秀和(2期)	
副 会 長	大道 正夫(4期)	山本 勉(4期)
	古藤田謙治(5期)	中濱こずえ(9期)
理 事	藤原 真人(22期)	藤原 直人(31期)
	高橋 芳昌(33期)	佐藤 愛美(36期)
	増田 祐徳(36期)	金子 周平(38期)
	増田 悠子(38期)	柘植 貴之(41期)
	佐藤 楓(42期)	
会 計	北原 将(44期)	佐藤恒太郎(45期)
	末吉 敦(46期)	
監 査	上原 武(25期)	柿崎 祐一(25期)
	小西 直子(35期)	播口 陽介(36期)
事 務 局 長	山下裕太郎(45期)	
副 局 長	内山 唯(43期)	木村翔太郎(44期)
	安藤えり子(45期)	萬 紗帆(46期)
書 記	山本 航介(43期)	松尾理矢子(44期)
	村上 将(45期)	長尾沙津季(46期)

特集

第15代校長 鈴木俊裕先生インタビュー

～光陵の改革と進化～

鈴木先生は平成19年4月から平成24年3月まで光陵高校の校長としてご活躍されました。様々な改革を進め、平成24年には文部科学省の研究開発指定校に選ばれるなど光陵高校は全国的に注目されました。

では、鈴木先生は光陵高校にどのような印象をもたれていたのか、お話を伺いました。



光陵高校への思いを語る鈴木先生（左）と45期村上（右）

光陵高校は良い生徒が集まる土地柄がある

— よろしくお願ひします。

まず始めに5年間校長を務められ、光陵高校に対してどのような印象をもたれましたか？

鈴木先生（以下、鈴木）：

相手の気持ちを理解できる生徒たちが集まっているという印象をもちました。言われたことを確実にこなす「優秀」な生徒が多かったです。一方で個性をもっと前面に出してもいいのではないかともしました。

— おっしゃる通りかもしれません。ただ、自分が生徒の時はそのように思いませんでした。大学に入り様々な人と関わることで、光陵生は良い人が多かったと感じるようになりました。では、なぜそのような生徒が集まるのでしょうか？

鈴木：私は光陵高校の立地が深く関係していると推測しています。光陵高校の立地が光陵の良さを守っているのです。

— 不便な場所に建っている高校だと思っていましたが（苦笑）。

鈴木：光陵生は、周りに何も無い山の上だけ光陵高校を選んだのです。今や学区がないなかで、周りが繁華街で帰りにゲームセンターなどに行ける高校よりも光陵を選ぶというのは、非常にしっかりしたタイプということです。そういう生徒が集まって良い光陵がつけられている……という持論です（笑）。

— 校歌に「光陵われをつくり、われら光陵をつくる」という歌詞がありますが、そのような意味も込められているのかもしれないですね。

光陵生に望んだもの…「人間力」

— 先ほど光陵生は個性が前面に出ていないというお話がありましたが、鈴木先生はどのような光陵生になってほしいという思いがありましたか？

鈴木：個性だけの話ではないですが、学力だけではなく目に見えないグローバル感覚のようなものを身につけてもらいたいと思っていました。言葉では上手く表せないけれど「人間力」という言葉に集約できていると思っています。

— KU（Koryo Universe 総合的な学習の時間）などの授業で学習してきたことですね。当時はよくわからなかったの

ですが、今ではその言葉の意味を少しだけ理解できたような気がします。

鈴木：それを聞いて安心しました（笑）。「人間力」については、就任から5年間ずっと言い続けてきましたが、当時は生徒に限らず先生からも疑問の声があがっていて……それでもこれだけ「優秀」な子たちが集まっているのだから、ただ「優秀」なだけではもったいない。「人間力」は社会に出ても必要ですし、（勉強）+（勉強ではないもの）を光陵高校で身につけてもらいたいです。

光陵高校も進化していかなければならない

鈴木：光陵高校は目には見えない伝統というものを受け継いでいて非常に良い高校だと思います。ですが、学校は現状に甘えて止まってしまうと進歩しなくなってしまう。だからこそ、新しいことにチャレンジすることを忘れないでほしいです。毎年生徒も変わるので常にトライしていくことが必要なのです。

— 確かに勉強面では90分授業が45分授業に変わったり、環境面ではエアコンが設置されたりと色々変化があったように感じます。文部科学省の研究開発指定校に選ばれたりもしましたね。

鈴木：そうですね。生徒も一生懸命だから、私も生徒に対して一生懸命に尽くさなければいけないと考えていました。それは生徒に限らず先生やPTA、光陵会といった様々な方向に対しても同じです。一生懸命やるというのは大変なことですが、光陵高校にはどんどんチャレンジして進化して欲しいと思っています。

～インタビューを終えて～

生徒が一生懸命だという校風は今も昔も変わらない、光陵の伝統だと思います。それは、鈴木先生が様々な新しい取り組みをなさり、生徒と先生がお互いに一生懸命になることでより強固なものになったのではないかと思います。目に見えない伝統を残しつつ、光陵高校はこれからどのように進化していくのか見届けていきたいです。

（45期 村上 将）



特集

第16代校長 伊藤眞人先生インタビュー

～光陵生の伝統とジレンマ～

伊藤先生は平成25年4月に校長として光陵高校に着任されました。50周年目の時期に着任された伊藤先生には光陵高校がどのように映り、今後どのような光陵高校にしていきたいと思われたのでしょうか。また、もうすぐ迎える50周年についても語っていただきました。



光陵高校への思いを語る伊藤先生(左)と45期佐藤(右)

君たちはもっとできる！

—最初に光陵生の印象についてお聞きしたいと思います。

伊藤先生(以下、伊藤)：

光陵高校に赴任して光陵生はおとなしいという印象を持ちました。それはとてもいいと思うけれど、もっと向上心をもっていいと思います。こんなものでいいのかなと遠慮していて、欲がないのかなという気が少しします。「君たちはもっとできるよ!」と思います。

—それは勉強に関してという意味でしょうか？

伊藤：勉強という面ではもちろんのこと、学校行事でもそれを感じますね。文化祭にしても、もっと変わったことに挑戦してもいいのかなと思うこともあります。文化祭の時に卒業生に聞いてみたけれど、現役生に送りたい言葉として「今の君たちでいいんだよ」という言葉がある一方で「もう少し頑張りなよ」というものもあったのです。私も彼らと同じような気持ちをもっています。

光陵生にこだわりをもってもらいたい

—前任の鈴木先生は光陵生に身につけてもらいたい力を「人間力」と表現し、KUを取り入れるなどの活動をされました。伊藤先生はどのような光陵生になってほしいと期待されていますか？

伊藤：「自分の考えをしっかりとって、それを主張できる人」ですね。高校生なりのこだわりや背伸びをした考えでもいいので、まず自分なりのこだわりをもち、周囲に主張してほしいです。最初にも言ったのですが、光陵生はおとなしく

てそういった部分があり感じられないので…。

—生徒たち自身で気づくのは難しそうなテーマですね。伊藤先生は「自分なりのこだわりをもつ」ことをどのように生徒へ伝えていこうと考えていますか？

伊藤：具体的に決めてはいないけれど、あらゆる方法で発信していくつもりです。校門にできた新しい掲示板や、ホームページなども活用していきたいです。そして生徒が自ら「自分なりのこだわりをもつ」ことの大切さに早く気づいてほしいですね。

これからも伝統を受け継いでいく

—もうすぐ光陵高校は50周年を迎えます。50周年をどのように迎えたいとお考えですか？また、今後の光陵高校に向けてメッセージをお願いします。

伊藤：記念式典をやるのはもちろん、光陵高校には様々な活動をしている卒業生がいるので、現役生向け、卒業生向けのどちらでもいいから講演をやりたいですね。また、半年くらいの期間をかけて、現役生と卒業生と一緒に活動する機会をつくるのもいいと思います。卒業生も50周年を気にしてくれていますので、長い期間で活動することで、記念式典には日程が合わない人でも50周年に関わることができると思います。現役生の若さと卒業生の伝統を融合させたいですね。50周年以降も歴史は続いていくのですから、光陵高校には古いものを残しつつ、新しいものも取り入れていく若さや柔軟さも大事にし続けてほしいと思います。

～インタビューを終えて～

私も入学当初は、光陵生は「おとなしく冷めている」という印象を抱いていました。しかし、体育祭や文化祭、学音祭といった行事の際には一転、とても盛り上がるため、今では「何事も一生懸命でうまくメリハリをつけられる」という印象になっています。行事の際の光陵生の熱気は今でも忘れられません。

間もなく光陵高校は50周年を迎えます。50周年は私たち卒業生が光陵高校の活動に関わることでできる素晴らしい機会だと感じています。今までの光陵高校を振り返りながら50周年を、そしてこれからの光陵高校をともにつくり上げていきたいと思っています。

(45期 佐藤恒太郎)

注)伊藤先生は、昨年の取材時には校長でしたが、平成26年3月をもちまして光陵高校を離任されました。1年間という短い期間ではありましたが、50周年に向けてご尽力いただき感謝しております。新天地でのさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

光陵高校の公式ホームページも充実しています！

最近、光陵高校の公式ホームページをご覧になったことはありますか？近年、コンテンツも充実しており、光陵高校の今を知ることができます。伊藤先生も校長だよりとして『光陵のかぜ』を掲載されていました。

来年には50周年を迎える我が母校。50周年への予習として、皆様もご覧になってみてはいかがでしょうか。

光陵高校公式ホームページ URL
<http://www.koryo-h.pen-kanagawa.ed.jp/index.html>



特集

光陵卒の先生方が語る光陵生の“今”と“昔”

創立50周年を間近に控え、卒業生5人が「先生」になって光陵高校に帰ってきました。そこで、茅野憲先生（7期）、大竹亮一郎先生（10期）、林喜男先生（11期）、本郷宏一教頭（13期）、笠原美保子先生（15期）の5人の先生方に、在校当時の思い出や、現役の光陵生の印象などを語っていただきました。※ 以下、敬称を略させていただきます。

文化祭の後の「デカンショ踊り」

— 光陵高校といえば行事が盛んという印象がありますが、特に思い出に残っている行事はありますか？

大竹：文化祭は、デカンショ踊りがありましたね。後夜祭でキャンプファイヤーとフォークダンス、あとカラオケ大会があって、その後に自然とデカンショ踊りが始まるんです。「デカンショデカンショで半年暮らす、あとの半年は寝て暮らす」と言いながら、輪になって踊るんですよ。けれど、ちゃんとしていない人間はやっちゃダメなんだと言って反対して、強引にやめさせようとしていたのを覚えています（笑）。

笠原：ところで、事務局の2人はデカンショってなんだかわかる？

— いえ、わからないです。何かの略でしょうか？

大竹：デカルト・カント・ショーペンハウエルの略でデカンショ。

笠原：哲学者のことね。

— 当時から文化祭はかなり活気があったんですね。

愛着のある校舎

— 行事のほかに、学校生活で印象的だった思い出はありますか？

本郷：私はソフトテニス部だったのですが、実は入学当初はなかったんですね。ひとつ上の同じ中学の先輩から「新しい同好会作るからお前も入れ！」と言われたのがきっかけで入りました。

— 当時は、硬式テニス部しかなかったのですね。

本郷：そうですね。硬式テニス部のコートはすごく綺麗でした。

茅野：僕らの頃は山手分校から移ってきたばかりの新しい校舎だったので、「こんなに綺麗な校舎を大事にしないで」という意識が強かったですね。先生に言われる前に、生徒たちで自主的に掃除していましたよ。

— 生徒が自主的にですか！？

茅野：そうですね。見回りに来るのも先生じゃなく、美化委員の先輩でした。帰りのホームルームはなかったけれど、最後の授業が終わるとみんな一生懸命掃除してから帰るくらい、とにかく掃除好きでした。大掃除のときは裸足になって、みんなでワックスがけまでやっていましたよ。

教師として見る光陵生

— 光陵高校に教師として戻ってきて、在校当時との違いを感じることはありますか？

笠原：運動部が盛んになりましたよね。私の頃は部活に入らずに、帰りのホームルームが終わった瞬間に教室を出ていく人が



左から45期山下・佐藤、笠原、本郷（後列）、林、大竹、茅野（前列）

多かったですね。そのままバス停に直行して予備校に行く人たちが多く、「陰即」と呼ばれていました。これは「陰險即帰」の略で、当時の雑誌光陵にはこの「陰即」について1ページもの記事になっていましたよ。

— 当時は共通語となっていたんですね。

笠原：そうですね。でも、生徒総会の時は困りましたよね。当時の生徒総会は放課後にしか開けなかったのが、陰即されてしまうと定足数が足らずに流会となってしまう、体育祭が中止になりかけたこともありました。それとは逆に、自分が早く帰って買い物をする時に「今日は私、陰即するんだ！」と楽しく使ったりもしていましたね。

— 体育祭が中止になりかけるなんて、陰即の影響力はすごいですね。ところで、林先生は光陵生をどのように思いますか？

林：現在の生徒は明るくて、素直だと感じます。ですから、社会に出て嫌な思いをしなければいいなとちょっとドキドキしてしまいます。教師としての立場だと、自分たちの時よりは今の生徒の方が接しやすいのかなとは思いますが。

— 生徒の印象は昔と変わったのですね。

林：良いか悪いかは別だとは思いますが、ただ、全体の印象からすると明るい生徒が増えたなと感じます。ニコニコしていますし、挨拶をよくするようにもなりましたね。

— 私も卒業してから光陵高校に来ると、現役生がよく挨拶をしてくれると感じます。これからもこのような良い雰囲気を保っていけるといいですね。

終始和やかな雰囲気、先生とともに笑いを交えて話すことができました。私が現役生だった頃にお世話になっていた先生からも意外なお話を聞くことができ、とても充実した時間を過ごすことができました。ご協力いただきました先生方、ありがとうございました。

50周年の歳月を垣間見ることができた今回の座談会。このほかにも、学音祭での思い出や、挨拶振興会という同好会のお話など、紙面の都合上、掲載できなかったお話がたくさんあります。続きは「50周年特設サイト」(http://koryokai.jp/koryo_50th/)にて近日公開予定ですので、ぜひご覧ください！

（取材・45期 佐藤彩香、山下裕太郎）

平成25年3月/平成26年3月(※) 合格状況

※ 平成26年3月については速報人数

進路状況

	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年
卒業生数	237	236	233	235
就職者数	0	0	0	0
進学希望者数	237	236	233	235
同上の割合	100%	100%	100%	100%
合格者実数	212	208	—	—
同上の割合	89.5%	88.1%	—	—

過年度卒業生

	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年
延合格者数	121	157	207	137

合格状況

(1) 国公立大学

学校名	平成26年		平成25年		平成24年	平成23年
	総数	現役	総数	現役		
北海道大学	1				2	3
旭川医科大学			1			
東北大学	1	1				1
群馬大学	1					1
埼玉大学			1	1		
筑波大学	1	1			2	3
千葉大学	2	1	1		2	1
一橋大学			1	1		
東京海洋大学	1	1			2	1
電気通信大学	1		3	1	2	1
東京医科歯科大学					1	1
東京外国語大学					1	1
東京学芸大学	2	1	2	1	2	2
東京芸術大学						1
東京工業大学	4	4	2	2	1	3
東京農工大学					2	3
横浜国立大学	9	6	16	11	12	7
静岡大学	2	1				
新潟大学					1	
富山大学					1	
信州大学					1	
名古屋大学	1	1			1	
京都大学			2	1		
神戸大学	1					
広島大学					1	

学校名	平成26年		平成25年		平成24年	平成23年
	総数	現役	総数	現役		
佐賀大学			1	1		1
宮崎大学	1					
長崎大学			1			
鹿児島大学	1	1				
秋田県立大学					1	
埼玉県立大学					1	
首都大学東京	3	2	3	3	5	5
神奈川県立保健福祉大学	2	2	3	3	3	3
横浜国立大学	10	10	13	10	17	11
都留文科大学			1	1		
合 計	44	32	51	36	61	49

(2) 私立大学(4年間の合計が6名以上のみ掲載)

学校名	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年
国際医療福祉大学	1	1	2	2
文教大学			7	7
青山学院大学	56	45	45	39
大妻女子大学			6	6
学習院大学	11	11	8	7
北里大学	5	3	5	5
共立女子大学			2	2
慶應義塾大学	21	17	17	14
國學院大学	20	17	15	15
駒澤大学	14	11	13	11
産業能率大学	7	7		
芝浦工業大学	12	10	8	5
順天堂大学	1	1	3	2
上智大学	22	19	30	27
昭和女子大学	2	2	5	4
昭和薬科大学			3	2
成蹊大学	8	6	5	4
成城大学	10	8	5	4
専修大学	27	25	16	13
玉川大学	5	2	2	2
多摩美術大学			6	5
中央大学	43	34	60	40
帝京大学	2	2	3	1
東海大学	7	5	2	1
東京家政大学			2	1
東京工科大学	3	2	1	1

学校名	平成26年		平成25年		平成24年	平成23年
	総数	現役	総数	現役		
東京工芸大学	3	2			1	3
東京女子大学	2	1	1	1	3	1
東京電機大学	2				2	2
東京都立大学	15	14	15	6	10	11
東京農業大学	3	3	6	5	8	5
東京薬科大学			4	3	2	1
東京理科大学	20	18	11	7	31	21
東洋大学	16	14	6	6	10	12
日本大学	49	46	26	18	34	31
日本女子大学	11	8	5	5	12	2
法政大学	45	39	35	23	38	27
星薬科大学					4	3
武蔵野大学	4	4	1	1	1	1
武蔵野美術大学	1	1	8	7	1	
明治大学	69	56	82	66	72	54
明治学院大学	34	27	30	26	36	26
立教大学	50	43	32	28	37	33
早稲田大学	58	52	46	40	38	42
神奈川大学	15	13	13	8	21	20
鎌倉女子大学	2	1			5	3
関東学院大学	3	3	2	1	1	2
相模女子大学	3	3				3
フェリス学院大学	4	4	2	2	5	1
横浜薬科大学	3	2	1	1	2	
立命館大学			6	4	4	7
その他	27	25	28	20	27	21
総 数	716	607	631	498	623	500

～現役生 行きたい大学ランキング～
(平成25年7月実施 光陵会進路アンケートより)

【国公立大学編】

1. 横浜国立大学 291 票
2. 横浜市立大学 118 票
3. 東京工業大学 66 票
4. 一橋大学 46 票
5. 首都大学東京 39 票

【私立大学編】

1. 早稲田大学 307 票
2. 明治大学 283 票
3. 慶應義塾大学 228 票
4. 上智大学 204 票
5. 青山学院大学 181 票

(※ 1人2票まで投票可) (※ 1人5票まで投票可)

寄付報告

光陵会では毎年、光陵高校に寄付を行っています。昨年度は要望のあった「プロジェクター」と「ガラス戸付き掲示板」を寄付しました。「プロジェクター」は、KU（総合的な学習の時間）の発表時などに活用し、より有意義な学習につながっています。「ガラス戸付き掲示板」は校門に設置されており、本校の生徒はもちろん地域の方や来客の方が、光陵高校の様々な活動に興味をもつきっかけとなること期待されます。本年度以降も、生徒たちにとって価値のある寄付活動にするために、皆様のご意見を同封のハガキに添えていただけると幸いです。(45期 山下裕太郎)



平成25年度 部活動実績(抜粋)

部 活	成 績
サ ッ カ ー 部	高校総体県予選ベスト32
男 子 テ ニ ス 部	横浜地区リーグ大会4部1位
男子ソフトテニス部	横浜市民大会Bブロック3位
女子ソフトテニス部	横浜市民大会Bブロック優勝
男子バレーボール部	関東大会県予選会ベスト32
女子バレーボール部	高校選手権県予選会ベスト32
バドミントン部	関東大会県予選会ベスト32
陸 上 競 技 部	関東陸上競技選手権大会女子200m出場
ダ ン ス 部	全国高等学校ダンスドリル選手権大会 関東大会秋季大会全国大会出場
吹 奏 楽 部	横浜吹奏楽コンクール銀賞
美 術 部	全国GACAアニメーション漫画コンクール漫画部門優秀賞
演 劇 部	関東高等学校演劇研究大会優良賞

教職員異動

【平成24年度 離任者】

氏 名	教 科	転 出 先
鈴木 俊裕	校 長	退職
岸川 浩幸	国 語	県立総合教育センター
関口 正昭	地歴公民	横浜桜陽高校
坂蒔 正	理 科	

【平成25年度 新着任者】

氏 名	教 科	転 出 元
伊藤 真人	校 長	藤沢清流高校
梶 輝行	副 校 長	光陵高校(教頭)
小田 尚美	教 頭	神奈川総合高校
本郷 宏一	教 頭	大和西高校
林 喜男	国 語	横浜南陵高校
笠原美保子	国 語	田奈高校
太田三枝子	国(臨時)語	大磯高校
畠山 崇	地 歴	寒川高校(再任用)
茅野 憲	理 科	永谷高校

氏 名	教 科	転 出 先
桃木 桂子	理(実習助手)科	金井高校
布川 祥子	外 国 語	県立横浜国際高校
畑山由紀子	外 国 語	逗葉高校
原口 直美	養 護	白山高校

氏 名	教 科	転 出 元
田代 夏美	理(実習助手)科	鶴見総合高校
小河多香路	外 国 語	高校教育指導課
佐々木澄子	外 国 語	川崎高校
川崎 幸	外 国 語	保土ヶ谷高校
一寸木紀子	養 護	舞岡高校
石川 静子	国(非常勤)語	
中出フズ子	地 歴(非常勤)	
福富 昭宏	理(非常勤)科	



会報発行協力金のお願い

会報発行協力金にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本会報の発行費用は平成21年度より名簿委託業者であります(株)サルトと共同事業とした独立採算制とし、会員の皆様にはその会報発行費用を賛助協力金として1口2,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知のうえ同封させていただきました。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため尽力してまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※会報発行協力金は発行費用を上回ります賛助協力金をいただいた場合、その8割が光陵会への賛助となります。

※同封の振込用紙は、ゆうちょ銀行にて振込いただきますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアを利用される場合は一律2,000円となりますのでご注意ください。

光陵卒業生人材バンク登録のお願い

光陵高校では、毎年、卒業生による「キャリアガイダンス」を実施しています。これは、様々な分野で活躍する卒業生が講師となって、自らの勤労観・職業観、これまで経験してきた仕事や若き日の進路選択などについて現役生にお話しし、現役生が将来を考える参考にしてもらおうというプログラムです。例年約20名の卒業生が参加しています。光陵会は、講師として参加いただける卒業生をご紹介するという形で協力をしており、今年度も講師を募集しております。趣旨に賛同し、講師として参加していただける方は、「光陵高校内光陵会」宛に書簡を出していただくか(住所:〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)、大道正夫(4期)宛(omichim@nifty.com)にご連絡をください。

会員名簿の取扱いについて

光陵会では平成22年5月に会員名簿を発刊いたしました。昨今光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは光陵会とは一切関係ございませんので、内容を確認のうえ、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。光陵会では第三者に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サルトとともに厳重に管理しております。皆様も名簿の取扱いには十分ご注意のうえ、外部への流出がないよう、ご配慮ください。また、一昨年神奈川県警の条例に基づく要請を受け、振込め詐欺予防のために当会名簿を貸出いたしました。貸出期間の満了に伴い返却済みでありますこと、本紙面をもってご報告申し上げます。会員の皆様のご理解をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局よりお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業での対応となりますため、ご入金の確認後1カ月程度のお時間をいただいております。期間の余裕をもってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿はお1人様1冊までとなります。

宛先:「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

卒業生からの便り



昨年の会報発行後に事務局へ寄せられたコメントをご紹介します。

- 齢にはかないませんが、ますます過ごしています。光陵会の発展をお祈りしています。(旧職員)
- 仕事でオーストラリアに行った時、宿泊したホテルで光陵の卒業生が働いていて、光陵の話で盛り上がりました。(10期 高島崇さん)
- 一昨年度の総会では中井さんの講演とても興味深く拝聴しました。視聴覚室からながめるプール越しのクラブ棟。まったく変わらない景色が高校生時代の自分も思い出させてくれました。(12期 女性)
- 現在息子が光陵の3年生です。毎年行事は大いに盛り上がり、伝統が引き継がれていると感じます。(12期 女性)
- 権太坂よ、永遠なれ！(12期 男性)
- 光陵会がより先輩後輩がうまく繋がる会になってもらえるとうれしいです。(13期 男性)
- 年々総会も懇親会も盛況になっているようで頼もしく思っております。(13期 女性)
- 高校生活は昨日の事のように思い出されます。同級生はどんなに立派になっても、私にとってはやんちゃで明るい高校生のままで。(13期 女性)
- 高校を卒業してはや30年。息子が光陵も志望校に入っているの縁があれば親子2代光陵生…不思議な気分です。(15期 いくちゃんさん)
- 高校卒業から30年とはびっくりです。娘も成人式ですし、年をとるわけです…。(15期 女性)
- 子どもが高校生になり、毎日部活で遅くなりながら頑張っている姿を見ると、光陵時代が思い出されます。(17期 女性)
- 娘が光陵へ進学する事を夢見て横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学へ入学しました。現実には厳しいようで…ドキドキです。(18期 女性)
- 子どもが学校に通い始めると母校にお世話になった事や楽しかった事が次々と思い出されます。(19期 女性)
- 進路をみると、長崎大学がないですね。長崎大学の卒業生は横浜市の職員として就職している人も多いんですよ。(22期 女性)
- 光陵が横浜国大と連携する事が遠方の北海道の教育関係の人たちの話題になっています。国内初のモデルケースになる事を祈っています。(22期 のっぽさん)
- 旧職員、松崎信也先生のお店が港南台にあります。沖縄ショップ「がじゅまる」です。ぜひ足を運んでください。(24期 女性)

今年も皆様からの感想、コメントをお待ちしています。同封しておりますハガキの自由記述欄にコメントをお寄せください。いただいたコメントの中から一部を来年度の会報でご紹介させていただきます。

あ と が き

『ごんた坂』19号、いかがでしたか。いよいよ来年、光陵は50周年を迎えます。これまでの光陵の魅力を受け継ぎつつ、新しい光陵としてさらに輝いていくことでしょう。我々スタッフも母校に誇りを感じつつ、光陵会という歴史ある同窓会組織の一員として、ますます頑張ってまいります。

最後になりましたが、(株)サルト杉田様、竹内様をはじめ、会報発行にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

(スタッフ一同 文・45期 松澤立矢)